

防災特別授業を受けて

一年二組堀内 啓太

ぼくは昔、神戸です。た阪神もどじ大しん

さいをかすかどすか心の中に残っていきます。

阪神大しんさいは、こ者いいしんたとかんじ

でいます。もし阪神大しんさいがかかたら

今の思いやるとか助けるとか、協力するなど

思う心は、なれと思ひます。早大防災教育支

援会(WASEND)のおちえさん、塚澤さ

んが、いろいろな防災のことをなどを聞きまし

た。インドネシアのスマトラ島沖の地しんは

、すごく大きいとテレビでいってました。

カメラの映像には、津波が来て人々(スマト

ラ島の)たちがたげていた。こおいな、ま

えろしいとじっかんした。津波のひがい者の

ルワンダくんの話を聞いて、ルワンダ

くんの意持ちが、あがります。ルワンダくんは

、父と別れて、はぐれて、しまい父をさがし

て、いたり津波が来て流されて、自分の村から

の、口はなれた。セメント工場の近くにいた

そこでまた流さるゝ近くの島の人に助けられ
 ました。そのあと、友達一兄のしんが父が別のひ
 らん所いると聞いた。そのひらん所へ行つて
 父とのさい会をした。そのあと自分の家のか
 げづけをした。たでも毎と2人のしさいが今もゆ
 くえ不明、ほくつルワシグムは、今でも
 思かしている。このじしんは、とてもマが二
 千メートルが高く、20メートルの津波で山へ島
 が、木が流れて山はたが見えた。このじしん
 をキョウくんは、いろいろな防災たいさくを
 考えたといけな。神戸でも東南海・南海

じしんかいつおこるかわかりない。いせんが
 たいさくをしていけな。この防
 災のことや阪神あちし・スラトや沖女しんさ
 いのことなどをまたしらない。子どももいる
 このことを、未来の子ともたすにも、言葉が
 いて、思いやりはけあ、協力しあう心を持
 っていつてほしい。塚澤さん今日は、防
 インドネシアの事などおしえてくまてありが
 とございました。